神奈川県入試直前予想演習

# Ⅱ 国語

## 第五回

**注意事項**

1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。

2 問題は **問五** まであり、**1**ページから**14**ページに印刷されています。

3 答えは、解答用紙の決められた欄に、記入またはマークしなさい。

4 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はっきり書き入れなさい。

5 マークシート方式により解答する場合は、その番号の〇の中を塗りつぶしなさい。

6 解答用紙にマス目（例：□）がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。

7 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

| 受検番号 |
| --- |
| 番 |

Sample

**問一**　次の問いに答えなさい。

(ア)　次のa～dの各文中の――線をつけた漢字の読み方として最も適するものを、あとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

a　閲覧を申し込む。（1　えつらん　2　せつらん　3　えんらん　4　かんらん　）

b　雪山で遭難する。（1　そうかん　2　こんなん　3　こんかん　4　そうなん　）

c　車が頻繁に通る。（1　しょうはん　2　ほうびん　3　ひんぱん　4　ひんしゅう　）

d　綻びを繕う。（1　よろこ　2　しの　3　ほころ　4　さけ　）

(イ)　次のa～dの各文中の――線をつけたカタカナを漢字に表したとき、その漢字と同じ漢字を含むものを、あとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

a　文化イサンを大切にする。

1　ヨウイならぬ事態となる。　2　身長とキョウイを測る。

3　事故のイゾクと対面する。　4　理事会にイニン状を提出する。

b　恩師に対するソンケイの眼差し。

1　煩雑な仕事をケイエンする。　2　日本のケイショウ地を巡る。

3　ケイサツが犯人を逮捕する。　4　チョッケイ10センチメートルの円を描く。

c　身の回りをセイケツに保つ。

1　際限のないキセイの緩和。　2　一流メーカーが作ったセイヒン。

3　セイジツな態度をとる。　4　セイリョウ飲料水を飲む。

d　学業をオサめる。

1　筋肉がシュウシュクする。　2　けがのチリョウをする。

3　忍者のシュギョウをする。　4　ノウゼイは国民の義務である。

(ウ)　次の短歌を説明したものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

窪田（くぼた）　空穂（うつぼ）

1　湧き出てくる泉の水の様子を「盛りあがり」「盛りあがる」と元気いっぱいに表現することで、生命の根源である水への感謝の気持ちを明確に描写している。

2　尽きることのない自然の生命力を「くづるとすれやなほ盛りあがる」と表現することで、絶えることなく湧きあがってくる泉の水の躍動感を描写している。

3　絶えることなく続く生命のつながりを「湧きいづる泉の水」と比喩を用いて表現することで、エネルギーに満ちあふれた青春のすばらしさを描写している。

4　自然の中で湧きあがる泉の水の静かな動きを装飾することなく、「湧きいづる」「盛りあがる」と見たままに表現することで淡々とした情景を描写している。

Sample

**問二**　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

昭和49年、小学三年生の「山田三男（やまだみつお）」は同じクラスの「斎藤君（さいとう）」が四、五年生にまじってメンコ(注)をしているのを見かけた。「斎藤君」は上級生に勝つことができず、悔しそうにしていた。次の日、「三男」は「斎藤君」に「メンコをやろう」と声をかけた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（佐川　光晴「昭和40年男　～オリンポスの家族～」から。）

（注）メンコ＝表面に絵や写真のあるボール紙で作られたおもちゃ。二人以上で互いに自分のメンコを出し、地面にたたきつけ合って、風の力で他人のメンコを裏返すなどして勝負を競う。
塚原や監物＝塚原光男と監物永三。どちらも日本の元体操選手で、オリンピック金メダリスト。
塚原は、鉄棒で月面宙返りを編み出した。
ウルトラC＝体操競技で、かつての最高難度C以上の技。

(ア) ――線1「一月だから、かなり気温が低かったはずだが、寒さはまるで感じなかった」とあるが、そのときの「三男」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　「斎藤君」の因縁の相手である四、五年生と本メンで対戦し、これまでの実力以上の力を出すために必死になっていたので、メンコ以外のことに注意を向ける余裕がない。

2　何度も練習を重ねたのにもかかわらず、本メンで四、五年生に勝負を挑んだ結果、大切にしていたメンコを取られてしまったため、失ったメンコのことを思って残念がっている。

3　本メンで四、五年生を相手に、たくさんのメンコを取ることができたため、今度はより強い相手と勝負をしようと思い、誰とメンコをするかということだけを考えている。

4　練習のかいあって、本メンで四、五年生と勝負をしてもひけを取ることなく戦えたことに興奮し、これから「斎藤君」と挑むメンコの試合のことを考えてワクワクしている。

(イ) ――線2「今回はチトまずかったな」とあるが、そのときの「橋本先生」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　初めてメンコをした「荻村君」に対し、きちんと本メンのルールやリスクを教えずにいきなり勝負をして思いきり負かしてしまった「三男」のことを小賢しいと思っている。

2　新しいメンコほしさに、初めてメンコをした「荻村君」に対して手加減もせず、買ったばかりのメンコを全部取ってしまった「三男」のことをやりすぎだと思っている。

3　いかにもお金持ちの家のこどもという感じの「荻村君」を妬み、買ったばかりの新しいメンコを全部取ってしまおうという考えに至ってしまった「三男」の境遇に同情している。

4　買ったばかりの弱いメンコでもよいので、とにかくたくさんのメンコを集めて強い相手に勝ちたいとばかり考えている「三男」が一度冷静になれるように諭している。

(ウ) ――線**3**「みんなになにを言ったのか、荻村君を問い詰めたかった」とあるが、そのときの「三男」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　メンコを取られた腹いせに自分のことを無視するようにとクラスメイトに言った「荻村君」の卑怯（ひきょう）なやり方に対して悔しく思っている。

2　本メンでもよいと言ったので仕方なく仲間に入れたにもかかわらず、そのことを忘れて文句を言っている「荻村君」にあきれている。

3　クラスメイトの自分に対する態度がそれまでとは変わったので、「荻村君」が事実を曲げて自分のことを悪く伝えたのではと思っている。

4　自分の行いのせいでクラスメイトに悪く思われてしまったことを悔やみ、「荻原君」のメンコを取ってしまったことを謝りたいと考えている。

(エ) ――線**4**「ボールを持った荻村君がつまらなそうに立っていた」とあるが、そのときの「荻村君」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　ドッジボールは得意だが鉄棒はあまり得意ではなく、運動神経には自信がないことをクラスメイトに悟られないよう緊張している。

2　それまで自分を中心にドッジボールをしていたのに、クラスメイトの関心が「三男」の鉄棒に移ってしまったのを不満に思っている。

3　連日ドッジボールばかりしていたのでみんな飽きてしまい、自分の周りからクラスメイトが離れてしまったのを悲しく思っている。

4　クラスメイトは鉄棒に興味を示しているが、鉄棒よりもドッジボールのほうが楽しいと思っており、手持ちぶさたになっている。

(オ) ――線**5**「そんなことないよ。おれだって初めてやったんだから」とあるが、ここでの「三男」の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　鉄棒に苦手意識を持っている「斎藤君」に「けっこう難しそうだな」と言われ、うまくコツを説明できなかったことを反省し、難しくないことを伝えるために安心させるような調子で読む。

2　自分がやっとできるようになった蹴上がりを「斎藤君」もできるようになってしまうのが嫌なので、本当は教えたくない気持ちでいるのが伝わるようにもったいぶった調子で読む。

3　自分が簡単にできるようになった蹴上がりを「難しそうだ」と言われてうれしくてたまらないが、「橋本先生」の目があるのであまり得意気にならないよう、感情を抑えた調子で読む。

4　蹴上がりのコツを教えたところ「けっこう難しそうだな」と言われたので、内心ではうまくいかないだろうと思いつつも、きっと「斎藤君」も成功すると励ますような調子で読む。

(カ) この文章について述べたものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　上級生に負けたくないという思いで必死にメンコの技を磨き合い、ついには上級生に勝つことができた「三男」と「斎藤君」の強い意志と、固い友情を会話文を中心に描いている。

2　これまで熱中していたメンコに代わって、「三男」が持ち前の運動神経をいかして鉄棒に夢中になっていくまでの過程を「三男」の視点からいきいきと描いている。

3　「三男」を仲間はずれにするため、クラスメイトに「三男」の悪口を言いふらした「荻村君」に対して、鉄棒で大技を成功させることで恨みを晴らした爽快感を描いている。

4　同級生の策略によりメンコができなくなってしまったが、メンコの代わりに鉄棒という新しい目標を見つけて黙々と努力を続ける「三男」のまっすぐな生き方を描いている。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（西尾　幹二「歴史の真贋」から。）

（注）マルクス主義＝資本家が独占する資本を社会の共有財産として分配し、協同、協力によって運営する社会を目指す思想体系。
先入見＝先入観と同じ。
ヤーコプ・ブルクハルト＝スイスの歴史家。

(ア) 本文中の［A］、［B］に入れる語の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　A　しかし　　B　つまり　　2　A　だから　　B　さらに
3　A　ところで　　B　たとえば　　4　A　なぜなら　　B　したがって

(イ) 本文中の〰〰線Ⅰの「で」と同じはたらきをする「で」を含む文を、次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　彼女の足取りは軽やかであった。　　2　これからも友人でいよう。
3　詳しくは電話で説明します。　　4　姉は本を読んでいる。

(ウ) 本文中の〰〰線Ⅱの四字熟語と似た意味を持つ四字熟語として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　千辛万苦　　2　他力本願　　3　臥薪嘗胆（がしんしょうたん）　　4　深謀遠慮

(エ) ――線**1**「まったく矛盾した話なのです」とあるが、この「矛盾」について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　一般的に自然科学や社会科学は「認識する主体である自己」を意識して研究を進める必要があるが、外国研究においてはその観点は必要とされていないということ。
2　学問や研究とは、何かを実在するものと見なしてそれに向かっていくものだが、対象を「認識する主体である自己」の存在については、研究が進んでいないこと。
3　外国研究では研究の対象が外国という自分の外にあるものであるが、自分の外に認識の対象を置いたままでは研究を深めていくことができないはずだということ。
4　ドイツ文学研究を職業とする筆者が、若い頃からずっと外国文学を学んだり研究したりしてきたにもかかわらず結局中途半端で終わってしまったということ。

(オ) ――線**2**「『ドイツ語で考えるのだぞ』『日本語で考えたら駄目だ』と何度も言われた」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　日本語に置き換えて考えてしまうと、どうしても既存の考えから抜け出せず、型にはまったおもしろみのない研究しかできないから。
2　日本人の視点でドイツ文学を研究していても、ドイツ文学と日本文学の違いにばかり意識がいってしまうため研究が進まないから。

Sample

3　日本人によるドイツ文学の研究は、日本文学の研究よりもまだ歴史が浅いため、研究を深く掘り下げることができないから。
4　日本人であることを捨てて、研究の対象である国の人間になりきるくらいのところまで学ばないと外国文学の優れた研究者にはなれないから。

(カ)　――線**3**「ハッと悟りを開く」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
1　漢籍・漢文の方がよく解る自分が、イギリス人研究家の手引きなどで何かを知ろうとするのは間違いであり、無駄であると気付いた。
2　英文学を研究するのに、イギリスの文化や英語にこだわっていてはうまくいかず、ひたすら英文学を幅広く読むことが必要であると気付いた。
3　英文学を学ぶためには自分を捨て、イギリス人になりきろうとするだけでは不十分で、「自分を捨てる」という意識さえも捨てる必要があると気付いた。
4　英文学の研究に必要なのは日本人だという意識を捨ててイギリス人になりきることだと思ったが、実際にやってみるととても難しいことだと気付いた。

(キ)　――線**4**「『歴史』という純粋な客観世界は存在しない」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
1　歴史は、過去の出来事として既に確定しているものなので客観的に検討する余地がないから。
2　歴史は、記述者が自身の主観をもとに過去を読み解いて選択し、言葉にして作られたものだから。
3　歴史は、過去の出来事について多くの歴史家の間で議論し、一つに形作られたものであるから。
4　歴史は、歴史家たちの先入見から生まれたもので、そのほとんどが事実とはかけ離れているから。

(ク)　――線**5**「歴史というのは歴史家の自分の勝手な反映か、といえばそうとも言えない」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
1　歴史は、歴史家の「自分を見る自分」と、さらにその「自分を見る主体」が反映されたものなので、客観的なものといえるから。
2　歴史は、歴史家の自己が反映されるとはいえ自己よりも大きなものなので、歴史家一人で変えてしまえるようなものではないから。
3　歴史は、歴史家個人の「勝手気ままな自己」を決して受け入れず、多くの人の知見をもとに長い時間をかけて確定していくものだから。
4　歴史は、「自分が外を見る」ことと「外を見る自分を見る」ことが格闘したすえに生まれた自己によって作り出されるものだから。

(ケ)　本文について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
1　学問や研究においてはいかなる分野でも自己を捨て、対象物になりきることで独自の世界が開ける可能性があることを、多様なたとえを用いて論じている。
2　学問や研究において対象物を認識する自己に視点を当て、研究を極めるのに欠かせない自己のあり方について、文学や歴史の具体例を交えつつ論じている。
3　学問や研究の分野によって対象物へのアプローチの仕方は様々であることを、文学と歴史それぞれの研究の特色を明らかにし、比較しながら論じている。
4　学問や研究の世界では自己を忘れて没頭するほど打ちこんでも中途半端に終わることを例に挙げ、研究において新しい発見をすることの難しさを論じている。

Sample

**問四**　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中ごろ、三井寺にわりなく貧しき僧ありけり。念ひわびて思ふやう、「かく所縁のなきなめり。（このように貧しさから逃れるための縁故はないようだ）かくしも思ふことの違ふべきかは。我、ほかへ行きて、宿世をも試みん」と思ひて、昼などは、旅姿もあやしければ、暁出で立つほどに、夜深く起き、道のほどもわづらはしかるべしとて、しばしよりふしたる夢に、色青み、痩せ衰へたる、わびしげなる冠者、我と同様に藁ぐつはきなど用意し、いみじう出で立つあり。（以前に）さきざきも見えぬものなれば、あやしくて、「おのれは何者ぞ」と問ふ。「年ごろ候ふ者なり。（長年あなたにお仕えする者です）いつも離れ奉らぬ身なれば、御伴申し候はんとて出で立ち侍り」といふ。僧のいふやう、「さるものやはある。名をば何といふぞ」と問へば、「人々しき身ならねば、（人並みの身ではないので）異名侍り。ただうち見る人は、貧報の冠者となん申し侍る」といふと見て夢覚めぬれば、すなはち、身のつたなき宿世を知り、「いづくへ行くとも、この冠者が添ひたらんには」と思ひて、外心改めて、あやしながら、本の寺にぞ住みける。

これ、またしもあるべきことなれど、人ごとに夢にも見ねば、宿世のほどをも知らず、いくばくもあるまじき身の、あたら、（もったいないことに）暇に後世のことをさしおいて、まづ、もしやもしやと走り求め、心を尽すなるべし。仏天の知見こそ、いと恥づかしく侍れ。

（「発心集」から。）

（注）中ごろ＝そう遠くない昔。
三井寺＝滋賀県大津市にある、園城寺の異称。天台宗の総本山。
宿世＝前世からの因縁。
冠者＝元服し、冠をつけた少年。
貧報＝現世で受ける、前世の行いによる貧苦の報い。
外心＝よその物や人にひかれる心。
仏天＝神仏。





Sample

(ア) ――線1「出で立つ」とあるが、僧が旅立とうとする理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 自分がこれほどまでに貧しいのは前世からの因縁に違いないので、現状を変えるには、修行の旅に出て、過去に犯した罪をつぐなっていくしかないと考えたから。

2 このままでは貧しさから逃れる手立てを見出せそうにないので、境遇を変えてみることで、前世からの因縁がどうなっているのかを試してみようと考えたから。

3 現在の貧しい身の上を嘆き、ここではこれ以上の生活は望めそうもないので、知りあいが誰もいない土地に行って、気分を新たに頑張っていきたいと考えたから。

4 自分のこれまでの人生は思っていたこととはかけ離れたものであったので、縁故に縛られたこの土地を離れ、貧しくも思い通りに生きていきたいと考えたから。

(イ) ――線2「おのれは何者ぞ」とあるが、「おのれ」について説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 旅に出ようとする僧の目の前に現れた、貧報の冠者の異名をもつ少年で、僧に貧乏から抜け出すための方法を伝えに来た神仏の成り代わり。

2 出立直前に突如、僧の目の前に現れた、痩せて青白い顔をした少年で、僧に長年仕えてきて、旅にも同行したいと願う実在の人物。

3 うたたねしている僧の夢枕に現れた、旅支度をした見知らぬ少年で、僧に己の前世の姿を知らしめるために神仏が見せたまぼろし。

4 眠っている僧の夢の中に現れた、みすぼらしい身なりの少年で、長年の間、僧に付き従って貧しさを与え続けていた人並みの身ではないもの。

(ウ) ――線3「本の寺にぞ住みける」とあるが、そのようにしたときの僧を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 自分には前世からの宿縁によって貧しさから逃れることのできない運命にあることを悟り、それを受け入れて生きていくしかないのだとあきらめている。

2 現在の貧しい状況をなんとか耐え忍ぶことができれば極楽浄土に行けることがわかり、この寺でつつましい生活を続けていこうと前向きな気持ちになっている。

3 どれほど自身の境遇を嘆いたとしても、自分には長年仕えてくれている心強い家来がいるのだから、外に目を向けることなく地道に努力しようと気持ちを切り替えている。

4 自分より貧しい少年に出会ったことで、自分の境遇など大したことはないと思えるようになり、今いる場所で強く生きていこうと自分を奮い立たせている。

(エ) 本文の内容と一致するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 人間は他人のことが気になってしまう生き物だが、自分と他人の縁故を比較して安心するのではなく、神仏に恥じることのないように日々を精一杯生きることが大切である。

2 人はみな僧のように自身の前世からの因縁について知ることができるので、自分が現世で何をするべきなのかについて、よく理解して行動するよう心掛けるべきである。

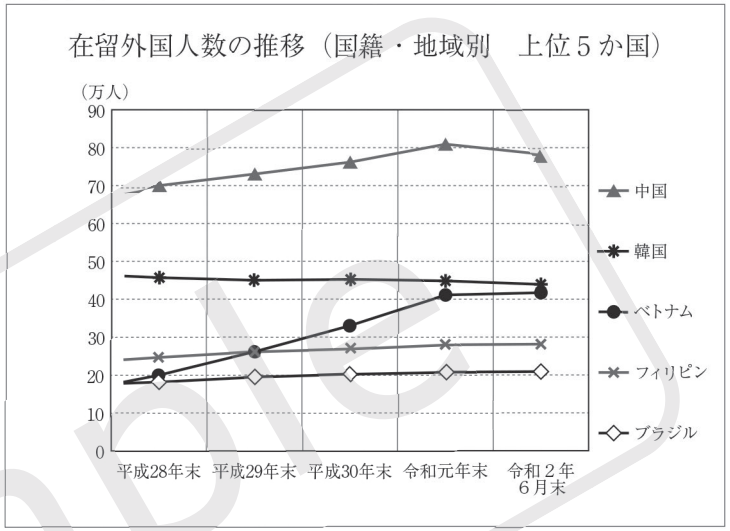
3 前世からの因縁というのはめったにあることではないので、生涯の貴重な時間をよい縁故を探すことに費やし、来世に向けた修行を後回しにするのはよくないことである。

4 努力ではどうにもならないことは人間誰しもあるものだが、自分にはどんな因縁があるかも知らずに手に入らない縁故を求めてじたばたするのはみっともないことである。

Sample

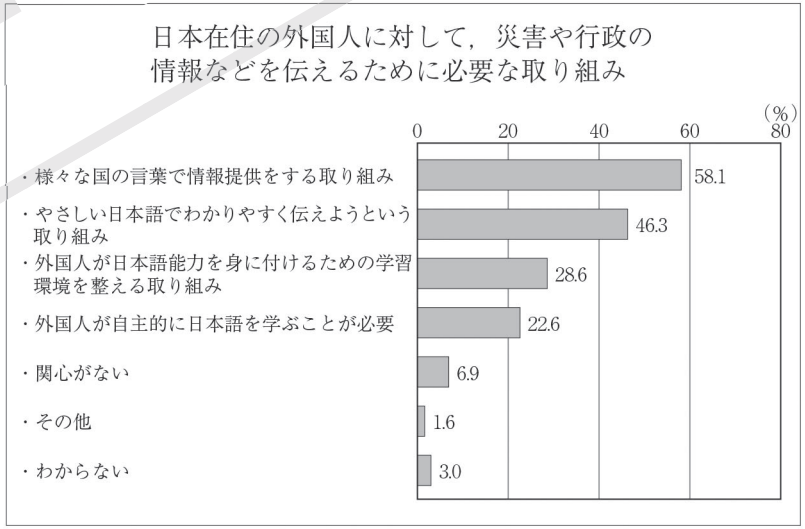
**問五**　中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、国語の授業で外国人とのコミュニケーションをテーマに日本の現状について調べ、話し合いをしている。次の**グラフ1**、**グラフ2**、**資料**と文章は、そのときのものである。これらについてあとの問いに答えなさい。

**グラフ1**




出入国在留管理庁「令和２年６月末公表資料」より作成。

**グラフ2**




文化庁「令和元年度国語に関する世論調査」より作成。

**資料**

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（伊豫谷（いよたに）　登士翁（としお）「グローバリゼーション―移動から現代を読みとく」から。）

Aさん　私たちは今回、外国人とコミュニケーションをとるうえでどのような点に注意すべきか、考えていきたいと思います。まず、現在、日本国内で外国人の置かれている状況を確認しておきましょう。

Bさん　では、**グラフ1**を見てください。「在留外国人数の推移」を国別に示したものです。これを見ると、［　　］ことがわかります。

Cさん　令和二年にはこの五か国だけで約215万人もの在留外国人がいるんですね。

Dさん　確かに私たちが住んでいる神奈川県でも外国人をよく見かけます。だから、外国人とコミュニケーションをとるうえで必要なことについて考える必要があると思います。

Aさん　ここで**グラフ2**を見てください。日本に住んでいる外国人に災害や行政に関する情報などを伝えるために、どのような取り組みが必要だと思うかを質問した結果をまとめたものです。これを見ると、「様々な国の言葉で情報提供をする取り組み」が必要だと考えている人が60パーセント近くいるとわかります。

Sample

Bさん　看板などでは、日本語表記のほかに英語表記をよく目にしますが、在留外国人上位五か国で公用語として英語を用いているのはフィリピンのみです。英語表記だけでは不十分で、様々な国の言葉で情報提供をする必要があることがわかります。

Cさん　「やさしい日本語でわかりやすく伝えようという取り組み」が必要だと考えている人も50パーセント近くいますね。

Aさん　そうですね。東日本大震災のとき、「高台に逃げてください」というアナウンスの「高台」の意味がわからなかった外国人が逃げ遅れてしまったという話を聞いたことがあります。そういった意味でも、伝わりやすい言葉で情報を提供することが求められますね。そのほかに、気づいたことはありますか。

Bさん　**資料**を読んだのですが、ここに書かれている「コミュニティ」には、会社や学校だけでなく、いわゆる近所付き合いも含まれていると考えることができます。在留外国人が暮らしやすくなるために、行政がすべきことは何なのでしょうか。

Cさん　ちょっと待ってください。もう一度**グラフ2**を見てみましょう。「外国人が日本語能力を身に付けるための学習環境を整える取り組み」と答えた人が約三十パーセントいます。たしかに、このアンケートは行政に対するものではありますが、日本語がわかるようになりたいという気持ちでいる在留外国人が少なくないと考えることができるのではないでしょうか。

Dさん　つまり、日本語がわかるようになりたいという人が同じコミュニティのなかにいれば、行政に頼らなくても私たちが教えてあげることもできるということですね。

Cさん　そうですね。また、**資料**を読むと、現代では人々の集団のあり方が見直されていると書かれています。日頃から在留外国人の方々と近所付き合いができていれば、災害時などいざというときにも協力していくことにもつながっていくと思います。

Aさん　では、ここまでの話をまとめていきましょう。**グラフ2**と**資料**から読み取ったことをもとに考えると、在留外国人が暮らしやすくなるためには、［　　］ことが必要です。

Bさん　在留外国人の人たち一人一人が悩んでいることは違うのかもしれませんが、私たちにも協力できることがあるのではないかと考えていくことも必要ですね。

Aさん　次回は、言葉以外にも在留外国人がどういった悩み抱えているのかを調べてみましょう。

(ア)　本文中の［　　］に入れるものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1　日本在住の中国人の数は、毎年約5万人ずつ増え続けている
2　日本在住の韓国人の数は、毎年わずかだが増え続けている
3　日本在住のベトナム人の数は、年々増加し、三年半でおよそ二倍になっている
4　日本在住のフィリピン人とブラジル人の数は、毎年わずかに減り続けている

(イ)　本文中の［　　］に適する「Aさん」のことばを、次の①～④の条件を満たして書きなさい。

①　書き出しの［在留外国人が暮らしやすくなるためには、］という語句に続けて書き、文末の［ことが必要です。］という語句につながる**一文**となるように書くこと。
②　書き出しと文末の語句の間の文字数が**三十字以上四十字以内**となるように書くこと。
③　**グラフ2**と**資料**から読み取った内容に触れていること。
④　「情報」「コミュニティ」という二つの語句を、どちらもそのまま用いること。

**（問題は、これで終わりです。）**





Sample